

令和5年7月6日
(資料提供)

(事務担当)
所属名：農林総合研究センター 農業試験場
総合研究部 病虫害防除室
直通：257-6903

令和5年度病虫害発生予報第4号について

今後発生が予想される水稻、麦類、大豆、果樹、野菜の病虫害の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

- 1 予報期間 7月中旬～8月上旬
 - 2 予報内容
- 水 稻

斑点米カメムシ類の発生は**多**と予想される。出穂後の好天により水田侵入が助長されるので、防除を徹底し、斑点米の発生防止に努める。

穂いもちの発生は**やや多**と予想される。出穂前後に降雨があると発生が拡大するので、防除は必ず実施する。

紋枯病の発生は**やや多**と予想される。発病を確認した場合、直ちに防除を実施する。

ツマグロヨコバイの発生は**やや多**と予想される。今後の発生状況に留意するとともに、基幹防除を徹底する。

大 豆

ウコンノメイガの発生は**やや多**と予想される。7月6半旬に1茎あたり葉巻数が6個を超えた場合、直ちに防除する。

果 樹

ナシ黒星病発生は**多**と予想される。降雨前後の薬剤防除を徹底する。

カメムシ類の発生は**多**と予想される。発生を認めた場合は直ちに防除する。

ハダニ類の発生は**多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。発生源となる下草を刈り取った後に防除する。

野 菜

スイカ炭疽病の発生は**多**と予想される。ほ場の排水に努め、降雨前後の防除を徹底する。

スイカ疫病、カボチャ疫病の発生は**多**と予想される。降雨によって感染が助長されるので防除を徹底する。ほ場の排水に努める。

軟腐病の発生は**多**と予想される。作業中は作物を傷つけないように注意するとともに、害虫防除を徹底する。

スイカつる枯病の発生は**やや多**と予想される。ほ場の排水に努め、降雨前後の防除を徹底する。

アザミウマ類の発生は**多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

コガネムシ類の発生は**多**と予想される。防除適期は7月下旬から8月上旬である。

アブラムシ類の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

※病虫害防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。

6～8月は農薬危害防止運動期間です。